

涌泉寺だより

「我が所説の諸経 而も此の経の中に於いて 法華最も第一なり」

(法師品第十)

日本全国様々な宗教、宗派がありますが、こだわりを持って信仰している方は少数派のように思います。こだわることの良いような雰囲気も感じます。日本の風土や日本人の民族性が理由とされますが明確な答えはありません。また日本がダメで、日本以外が正しい信仰心があるとも思えません。今年も各国で宗教テロがあり信仰にこだわってしまうと、どの宗教でも結果的には原理主義で暴力的になってしまおうという恐れがあると、人は感じているのだとも思います。信仰に入っていく理由は様々あると思うのですが、常に客観性を持たなくてはいけないと思います。

人は基本的に他者から批判されると自己の正当性を示したがると思います。各々が真実をしっかりと追及しているでしょ

うか。時には自己の間違いを認めないといけません。大変忍耐力が必要です。

毎年お盆になるとお寺の広告が多くなり「宗派を問わず、ご供養します」というものを目にします。このような広告は寺院をお守りしていながら許されることなのかと思ってしまう。しかし、残念ながら無宗教的な考えは世間ではとても好評です。佛教の歴史や宗派は完全に無視されています。こだわること避けるため、自身が何に手を合わせているか考えずに行っている方が以外に多いです。

涌泉寺は日蓮宗の寺院です。涌泉寺に携わる方には是非とも日蓮宗とは經典は法華経を読み、お釈迦さまに手を合わせていることを特に意識していただきたいと思えます。佛様にご先祖さまも私達も救っていただき、成佛するために私達は信仰しているのですから、相手を間違えてはいけません。私たちはお釈迦さまにご縁があり、お釈迦さまが救って下さるのです。そこを間違えてはいけないと教えて下さったのが日蓮聖人です。

お盆の時期に皆様も再度信仰について思いを巡らせていただければありがたいと思います。



お知らせ

七面宮安全祈願

昨年の7月2日の夜に七面宮お社の破損を確認してより一年が経過してしまいましたが、今年6月末に京都市より賠償に對する話があり今年度の補正予算で確定の予定です。

総代・堂講さんにも3月に今回の七面宮の修理をどのように行うかを話し合いをしていただきました。今回の修理に對し、お願いした補償額を満額補償してはいただけませんので不足分をどのようにするか、また基礎や周辺の石組みが随分と傷んでおりますので、その部分も補修を行うかなども検討していただきました。

建物は当然基礎がしっかりしていないといけませんし、日輪月輪の瀧は特に日像上人が妙泉寺と命名されたきっかけとなった由緒ある瀧で松ヶ崎の歴史に重要な意味をもつと考えています。そこで修繕には予算の都合もありますので全体を行うことはできませんが、今回は七面宮のお社、お社基礎石組み工事、日輪の瀧石組み工事、更に周辺樹木の剪定を行わせていただきます。

京都市さんの賠償や修繕工事の計画がほぼまきましたので8月中旬よりの工事開始に先立ち、7月17日に総代・堂講さん、

お社を修繕していただく細見工務所さん、基礎・瀧の石組み工事をしていただく吉田建設さんにご参加をいただき安全祈願のお参りをさせていただきました。

毎回しつこくして申し訳ございませんが、七面宮は京都日蓮宗法華信仰の始まりの地であります。歴代の方々も気に掛かっていても他の修繕もありませんか手が回らない状態だったのだと思っております。過去の文章では明治頃より荒れていたという記述も残っています。由緒ある場所ですので一昨年の七面宮お祭りの際には少しずつでも整備できるように努力していきたい旨をお参りに来られた方にもお話させていただきました。平成26年に京都市文化財の指定を受けました生師廟に続き、このように早く七面宮も整備させていただけることは住職としてこの上ない喜びであります。寺の整備に尽力し功德を積ませていただけることに大変感謝しております。この機会にしっかりと出来る限りのことを行い、後世に残していけるよう努力して参ります。皆様には今後とも七面宮お祭りの際には是非ご参拝いただきたく、お願い申し上げます。(今年度お社は工事中ですが、例年通り行います。)

完成は今年度末を予定しております。

